



【必読下さい】よくある質問

Q1. 他の防鳥ワイヤーとの違いは何ですか？

世界で一番ワイヤー取付が簡単で、人工手間削減に繋がる商材です。通常の防鳥ワイヤーは、

- ワイヤー片端毎に、スリーブを通してループにし、カシメる作業は手間で時間がかかる
- 高所作業になる為、スリーブを無くしたり、カシメが緩くて、ワイヤーが抜けたりした時、最初からやり直さなければいけない
- ワイヤーの張り具合を間違えた時(張りが緩すぎたり、張り過ぎていたり)、最初からやり直さなければいけない

アルティマ(Uグリッブ)防鳥ワイヤーはバネフックにワイヤーを差し込み、支柱に引っ掛けるだけの、誰でも出来る仕組みです。

誰でも出来るので、ワイヤーテンションが均一になりますし、何よりも施工手間が大幅削減出来るので、工期短縮、人工手間削減に繋がります。

Q2. ワイヤー径は何種類ありますか？

ワイヤー径は、φ1.2mm、φ0.8mmの2種類のラインアップがあります。お使いになる用途に合わせて、お選びください。

Q3. 支柱は何種類ありますか？

一般ビス止め取付可能箇所仕様のUBS-T0 (B、D)、一般形鋼用フランジ部専用支柱のUBS-FNシリーズ、丸形パイプ専用支柱のUBS-Pシリーズの3種類のラインアップがあります。お使いになる用途に合わせて、お選びください。

Q4. 支柱に取り付けるピッチに目安はありますか？

中間に用いる支柱は、φ1.2 ワイヤーセットL=4,000から7,000の場合、1本以上を推奨、L=8,000の場合、1本から2本を推奨、φ0.8 ワイヤーセットの場合、2,000mmピッチを目安に設置して下さい。

取付けたワイヤーが目視により水平を保たれていることが目安になります

Q5. ワイヤーはどの程度、引っ張れば良いですか？

バネ寸法の1.5倍程度が目安になります。ただし、バネの伸び具合はあくまで目安であり、施工時にバネ長を計測する必要はございません。

バネを過剰に引っ張り過ぎる（ワイヤーを強く張り過ぎる）と経年によりバネが戻る力が弱くなり、バネ性が損なわれる原因にもなります。また、張り過ぎる事により、鳥が止まれてしまいます。ワイヤー張りの理想は、ワイヤーに触れた時、適度にワイヤーが沈み込む程度になります。

Q6. 支柱の高さは変更できますか？

現状、出来ませんが、特注製作できる場合もあります。お問合せ下さい。

Q7. 支柱 UBS-T0 Bの塗装部が剥がれたのですが、問題ありますか？

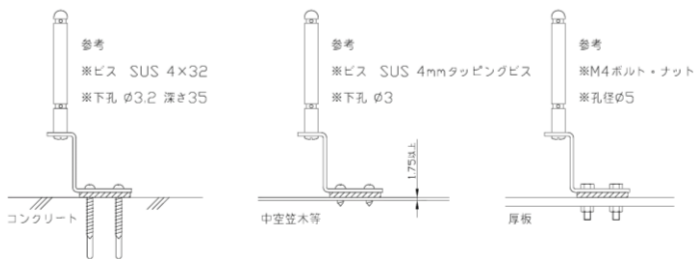
支柱本体は黒塗装の為、強くこすると塗装部が剥がれる可能性(特にワイヤー引っ掛け部)はございますが、製品仕様上は問題ありません。

施工手順書通りに、取り付けて頂ければ塗装は剥がれませんが、万が一、剥がれても支柱本体の材質はステンレスですので、錆付きづらいです。

Q8. 推奨のビスサイズを教えてください。

取付側の違いによりビス種類は異なります。

- 躯体コンクリートの場合：ビス SUS 4×32、下孔 φ3.2 深さ 35
- 躯体中空笠木等の場合：ビス SUS 4mmタッピングビス、下孔 φ3.0
- 躯体厚板の場合：M4ボルト・ナット、孔径 φ5.0

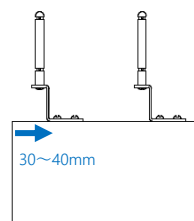


止水用シート (発泡ゴム)は締め込み後0.3～0.4厚となります

Q9. 支柱 (ビス止め可能箇所)の設置位置はどれくらいになりますか？

支柱 (ビス止め可能箇所)の取付は必ず構造物先端から30～40mm程度内側に取り付けて下さい。

困難な場合は、台座を90度回転させ支柱部を外側にせり出して下さい。



Q10. 経年でパネ、パネグリップが錆びたりしませんか？

パネグリップ内部は錆びにくい材質を使用しておりますが、設置場所、設置環境によっては、錆が発生する可能性があります。

ただし、錆が発生しても、ワイヤーロックには影響がございません。

Q11. H鋼適合フランジ厚は、既製サイズ以外にありますか？

現状、出来ませんが、特注製作できる場合もあります。お問合せ下さい。

Q12. 塗装は出来ますか？

現状、出来ませんが、特注製作できる場合もあります。お問合せ下さい。

Q13. 取付工事は出来ますか？

首都圏内の現場に限り、工事業者様のご紹介は出来ます。お問合せ下さい。

Q14. 施工実績を教えてください

都営住宅、UR都市機構物件に多くの実績がございます。

その他、JR駅舎、京成電鉄駅舎、企業ビル、学校、公共施設、店舗、一般住宅など全国に多くの実績がございます。

詳細は、[下記QRコード](#)からの納入実績をご確認下さい。

